Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-05-05

# 恩師 故西塚泰美先生を偲んで（<特集I>西塚泰美元学長を偲んで）

高井, 義美

(Citation)
神戸大学医学部神緑会学術誌,21:58-59

(Issue Date)
2005-08

(Resource Type)
departmental bulletin paper

(Version)
Version of Record

(JaLCDOI)
https://doi.org/10.24546/81007867

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007867

# 恩師 故西塚泰美先生を偲んで

大阪大学大学院医学系研究科
高 井 義 美（49年卒）

2004年11月4日の西塚泰美先生急逝の訃報には大変驚き，にわかに信じることができませんでした．先生におかれましては，大変お元気で県や国のことにお忙しい毎日を送られておられるとお聞きしていたからです．先生のご逝去のすこし前に，先生とは東京の学術振興会(学振)の建物前の路上で偶然お会いしました．先生に「君こんな所で何をしているの」と尋ねられ，「学振の審査会の帰りです」と申し上げますと，「ウロウロしないでしっかりと学問をしなさい」と言われ，私が「先生こそこんな所で何をなさっておられるのですか」とお尋ねしますと，先生には「しょっちゅう学振に呼び出されて大変なんや」とおっしゃられてお別れしました．これが私と先生との最後の会話になるとはその時夢にも思っておりませんでした．2年前に，門下生一同で先生の古希のお祝の会をポートピアホテルで行いました時には，先生も奥様も大変喜んで下さり，門下生一人一人が昔の想い出話をしますと，先生も奥様もにこにこ笑いながら聞いておられたことが，昨日のことのように思い出されます．2004年11月7日の告別式で先生に最後のお別れをさせていただいた時はじめて，先生には本当に亡くなられてしまわれたのだと実感し，大変寂しい思いをいたしました．

西塚先生が1969年に神戸大学医学部に着任されて以来，私達神戸大学医学部関係者の多くはいろいろなことを先生から教わりました．特に，私のような西塚先生の門下生は，実験のプロトコールの書き方から行ない方，論文の書き方から学会発表の仕方，研究費の申請書の書き方までありとあらゆることを教育していただきました．また，私達は先生から学問に対する考え方や態度などの哲学も学びました．先生はいつも，「オリジナルな仕事をしないといけない．他人のやったことの後を追うような仕事ではなく，他人が後を追うような，将来末広がりになるような仕事をしなさい．同じ実験は最低でも3回はやりなさい．実験結果が他の研究者に追試されることが大切です．学問をするのなら本物の学者を目指しなさい」といつもおっしゃっておられました．このような先生のお言葉をもう二度と先生から直接お聞きすることができなくなった今大変寂しい思いで一杯であります．

私達がお世話になっていたころの西塚先生は毎日朝早くから夜遅くまでお仕事をなさっておられました．そして，「実証科学は一生懸命働くことが大切です．よく考えてよく実験しておれば必ずいつか良い結果がでるものです」と言われ，私達を激励しながらひっぱっていってくださいました．1977年にプロテインキナーゼCが見つかった時，先生にはこれはオリジナルな良い仕事に発展すると大変喜んでくださったことをいまでも覚えております．教室が発展するにつれて，神戸大学医学部の卒業生はもちろん全国から多くの子弟が先生の教室に集まりました．先生はその全員の面倒を在籍中のみならず卒業後もみてくださいました．現在でも多くの門下生が神戸大学医学部のみならず全国で活躍されておられます．このように神戸大学医学部や神緑会の発展に果たされた西塚先生のご貢献は極めて大きいところがあると思っております．

西塚先生は京都大学医学部1957年のご卒業で早石修医化学教授の門下生であります．西塚先生は早石門下生であることを大変誇りに思っておられ，「学問は継承が大切です」とよく言われておられました．「りっぱな師のもとでりっぱな弟子が育つのです．君たちがまずよい仕事をして，そしてりっぱな弟子を育てるように．そうすることで日本にも学問の歴史ができるのです．」ご自身の実績に基づいた本物の学者の重い言葉と私達はいつも感激しながら聞いておりました．私は1974年の神戸大学医学部の卒業ですが，私達の学生時代には，西塚先生をはじめ，基礎医学講座には，西塚先生の京都大学医学部時代の同級生である杉山病理学教授と田中薬理学教授，木幡生化学教授，臨床医学講座には井村内科学教授，故東条産婦人科学教授，松本脳外科学教授など，国内のトップクラスの教授陣が多数おられましたが，このような人事にも西塚先生は大きなご貢献をされたものと思っております．この時代から神戸大学医学部にも国際レベルの本格的な研究や学問が生まれ育ってきたのではないでしょうか．西塚先生からいただいたご恩にすこしでも報いられるよう，私達，特に教職についている者は，これからも先生の教えを守り，若い人材の育成に貢献すべく一生懸命にがんばり，先生の教えを次の世代に伝えていきた

いものです．先生には天国で私達後輩のこれからも是非見守ってくださいますようお願い申し上げます．

西塚先生，本当に長い間お世話になりました．ありがとうございました．先生におかれましては安らかに眠られることをお祈り致しております．